

11	【廃棄物】・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	<ul style="list-style-type: none">・分別ルールに従った廃棄物の削減に取り組んでおり、各自治体の分別ルールに合わせ事業所に排出ルールを定めている。・保守やサービス事業活動で使用したパーツについても適正に管理し、決められた分別、回収フローに従い実施している。廃棄物の担当者は廃棄物を測定し、データベースに測定結果を登録し記録している。															○	○		○									
12	【エネルギー】・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	<ul style="list-style-type: none">・リコーグループ環境宣言：環境負荷削減と地球の再生能力向上に取り組み、事業を通じて脱炭素社会、循環型社会を目指している。・環境ハンドブックを作成し、社員が知っておくべき環境面での制度や仕組みを伝えている・電力・ガス等のエネルギー使用量を測定し、データベースに測定結果を記録している									○											○							
13	【温室効果ガス】・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	<ul style="list-style-type: none">・2030年までのGHG排出削減ロードマップを策定し、徹底的な省エネ活動を進めるとともに再生可能エネルギーの積極的な活用を進めている。①GHGスコープ1+2：63%削減(2015年比)②GHGスコープ3：40%削減(2015年比)③少なくとも使用電力の50%を再生可能エネルギーとする。・国内販売・保守活動のエネルギー起源CO2排出量の削減										○											○	○					
14	【有害化学物質】・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	<ul style="list-style-type: none">・リコーグループで「環境影響化学物質管理基準」を設定し、リコーグループに納品する部品・材料に含有する環境影響化学物質の管理基準を定めている					○												○	○									
15	【生物多様性】・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	<ul style="list-style-type: none">・地球の再生能力を維持し、高めていくことも重要であるという認識のもと、2009年3月制定の「リコーグループ生物多様性方針」に基づき、様々な活動を展開している。・「リコーの森にらさき」森林整備活動・富士山グリーン作戦											○										○						
16	【水の管理】・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	<ul style="list-style-type: none">・水の使用量・排水量・再使用・再生利用水量を把握し、「水に関する方針」を策定している。																						○					
17	【環境マネジメントシステム】・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	<ul style="list-style-type: none">・ISO14001を取得している					○																	○	○				
18	【環境情報開示】・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	<ul style="list-style-type: none">・リコーグループ環境綱領をまとめている・CSR報告書に「環境との調和」として具体的な取り組みを報告している																						○					
19	【再生可能エネルギーの利用】・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	<ul style="list-style-type: none">・リコーグループ全体で2030年までに少なくとも50%を再生可能エネルギーに切り替え、2050年までに100%を目指す。・ZEB事業所の導入・木質バイオマスボイラーの運用(リコー環境事業開発センター(静岡県御殿場市))																						○					
20	【天然資源の持続的利用】・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	<ul style="list-style-type: none">・脱化石由来プラスチックの推進																							○	○			
21	【3Rの推進】・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	<ul style="list-style-type: none">・循環型社会実現のためのコンセプトであるコメットサークルを提唱し、リコーグループの領域だけでなく製品のライフサイクル全体で環境負荷を減らしている。・脱化石由来プラスチックの推進・材料リサイクル可能な設計の推進											○													○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	<ul style="list-style-type: none">・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備・全社員がeラーニングによる教育を受講している																								○			
23	【公正な競争】・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	<ul style="list-style-type: none">・不正競争に関与しないことを「リコーグループ行動規範」に明記している・全社員がeラーニングによる教育を受講している																								○			
24	【知的財産保護】・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	<ul style="list-style-type: none">・リコーグループ行動規範に「知的財産の適切な保護と活用に努める」を明記し推進している																						○	○				
25	【個人情報保護】・個人情報を適切に管理している	基本	社会	<ul style="list-style-type: none">・「リコーグループ個人情報保護基本規定」「リコーグループ個人情報取扱基本規定」を定めている・個人情報保護のため、その取り扱い方針を定め、ハンドブックの作成・携帯及び社員教育により周知し実践している																									○		
26	【紛争鉱物】・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	<ul style="list-style-type: none">・グループ製造元のリコーでは、紛争鉱物問題を重要なCSR課題として捉え、サプライヤーと連携してサプライチェーンにおける透明性を確保し、責任ある鉱物調達の実践に取り組んでいる。																								○			
27	【サプライチェーン管理】・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	<ul style="list-style-type: none">・児童労働の禁止等の人権側面や環境保全など、社会的責任に関する規範で構成された「リコーグループサプライヤー行動規範」を整備。・取引にあたり、ハンドブックの作成や説明会の開催で認知を広めている																									○	○	

